

Ⅱ 業務の概要

II 業務の概要

精神保健福祉センターは、精神保健及び精神障害の福祉に関し、知識の普及を図り、調査研究を行い、並びに相談及び指導のうち複雑困難なものを行うとともに、精神医療審査会の事務並びに障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第53条第1項及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第45条第1項の申請に関する事務のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものを行う精神保健福祉に特化した専門機関である。（「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」平成11年法第65号）

「精神保健福祉センター運営要領」（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）に基づく精神保健福祉センターの目標は、地域住民の精神的健康の保持増進、精神障害の予防、適切な精神医療の推進から、社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のための援助に至るまでの広範囲にわたるとされ、以下の業務を行っている。

1 企画立案

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）

(2) 趣旨

政令市の精神保健福祉主管課及び関係機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をする。

(3) 事業内容

ア 政策形成に関する会議への出席

会議名	主催	出席回数	
		H28	H29
岡山市自殺対策計画ワーキング会議	保健管理課	13	4

イ 審議会

○ 岡山市精神保健福祉審議会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第9条第1項の規定に基づき、市条例で設置する。精神保健及び精神障害者の福祉に関する事項を調査審議し、意見具申する。

精神保健又は精神障害者の福祉に関し学識経験のある者、精神障害者の医療に関する事業に従事する者及び精神障害者の社会復帰、自立及び社会経済活動参加の促進を図るための事業に従事する者等により構成されている。

- ・設置年月日 平成22年4月1日
- ・委員数 12人（平成29年4月1日現在、定員15人以内）
- ・開催状況 1回／年度

○ 岡山市精神障害者地域支援対策審議会

岡山市精神保健福祉に関する審議会設置条例の規定に基づき、精神障害者の地域移行・地域定着支援の円滑な推進に関すること及び、精神障害者の地域生活を支える施策について、専門的見地での評価等を行う機関として、専門職、関係機関の代表等により構成している。

- ・設置年月日 平成23年4月1日
- ・委員数 10人（平成29年4月1日現在、定員15人以内）
- ・開催状況 1回／年度

○ 岡山市依存・嗜癖関連問題対策審議会

岡山市精神保健福祉に関する審議会設置条例の規定に基づき、地域における依存・嗜癖関連問題対策について、専門的見地での評価等について協議する機関として、専門知識を有する医師等により構成している。

- ・設置年月日 平成23年4月1日
- ・委員数 14人（平成29年4月1日現在、定員15人以内）
- ・開催状況 1回／年度

○ 岡山市思春期精神保健福祉審議会

岡山市精神保健福祉に関する審議会設置条例の規定に基づき、思春期精神保健関連事業について専門的見地から協議・評価する機関として、専門的知識を有する専門職、関係機関の代表等により構成している。

- ・設置年月日 平成23年4月1日
- ・定数 15人以内
- ・開催状況 0回（平成29年度）

2 技術指導及び技術援助

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）

(2) 趣旨

地域精神保健福祉を推進するため、保健所、保健センター及び関係諸機関に対し、専門的立場から、積極的な技術指導及び技術援助を行う。

(3) 事業内容

ア 複雑困難事例等関係機関への支援実績

（平成28年度）

	技術指導・援助												
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
保健所	0	28	7	0	0	8	5	22	45	1	0	326	442
市町村	6	5	2	0	0	25	0	13	15	0	0	31	97
福祉事務所	0	12	1	0	0	8	0	20	16	1	0	64	122
医療施設	0	595	48	0	1	93	0	15	91	3	0	221	1,067
介護老人保健施設	6	0	0	0	0		0	0	1	0	0	15	22
障害者支援施設	0	16	0	0	0	0	0	0	5	0	0	17	38
社会福祉施設	0	3	0	0	0	0	0	0	7	0	0	5	15
その他	26	160	45	1	0	54	5	452	160	4	0	652	1,559
実施件数	38	819	103	1	1	188	10	522	340	9	0	1,331	3,362

*精神疾患と診断されている者に関する相談は「その他」に計上する

(平成29年度)

	技術指導・援助												
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
保健所	1	23	7	0	1	4	7	31	16	2	1	354	447
市町村	2	4	2	0	0	7	2	16	3	0	0	40	76
福祉事務所	1	8	6	0	0	4	2	11	4	0	0	35	71
医療施設	4	503	25	0	0	76	4	20	141	1	0	202	976
介護老人保健施設	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
障害者支援施設	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
社会福祉施設	0	2	1	0	0	1	1	7	1	0	1	2	16
その他	33	205	43	0	0	52	60	461	90	4	3	385	1,336
実施件数	41	747	84	0	1	139	77	546	255	7	5	1,018	2,920

*精神疾患と診断されている者に関する相談は「その他」に計上する

イ 庁内との連携

内容	主管課
岡山市犯罪被害者等支援庁内連絡会議	生活安全課
岡山市自殺対策連絡協議会	保健管理課
教職員健康診断会議（～H28）	教育委員会保健体育課
地域精神保健福祉連絡会	健康づくり課
地域別精神保健福祉連絡会	各保健センター
岡山市発達障害者支援地域協議会	発達障害者支援センター
岡山市子どもを守る庁内ネットワーク	こども福祉課
岡山市要保護児童対策地域協議会市代表者会議	こども福祉課
DV対策庁内ネットワーク会議	女性が輝くまちづくり推進課
岡山市寄り添いサポートセンター支援ネットワーク連絡会議	生活保護・自立支援課
認知症支援チーム員会議	高齢者福祉課
岡山市市民協働推進本部会議	市民協働企画総務課

ウ 関係機関との連携

内容	主管課
岡山市日常生活自立支援事業契約締結審議会	岡山市社会福祉協議会
岡山市日常生活自立支援事業関係機関連絡会議	岡山市社会福祉協議会
岡山市障害者自立支援協議会全体会	岡山市障害者自立支援協議会
岡山市障害者自立支援協議会運営会議	岡山市障害者自立支援協議会
岡山市障害者自立支援協議会精神保健部会	岡山市障害者自立支援協議会
岡山市障害者自立支援協議会南西部地域部会	岡山市障害者自立支援協議会南西部地域部会
岡山県精神保健福祉協会理事会	岡山県精神保健福祉協会

エ 国・県関係との連携

内容	主管課
全国精神保健福祉センター長会・同大都市部会	全国精神保健福祉センター長会
全国精神保健福祉センター研究協議会	全国精神保健福祉センター長会
全国精神医療審査会連絡協議会	全国精神保健福祉センター長会
ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会
中国四国精神保健福祉センター長会・同主管課担当者合同会議	中国四国精神保健福祉センター長会
中国四国薬物中毒対策連絡会議	厚生労働省中国四国厚生局麻薬取締部
岡山県精神科救急医療システム連絡調整委員会	岡山県健康推進課
おかやま若者自立支援ネットワーク連携推進会議	岡山県労働政策課緊急雇用対策室
おかやま子ども・若者サポートネット実務者会議	岡山県男女共同参画青少年課
岡山県依存症対策推進協議会	岡山県精神科医療センター
岡山県依存症対策推進協議会治療支援コーディネーター部会	岡山県精神科医療センター
岡山県医療観察制度運営連絡協議会	岡山保護観察所
岡山県医療観察制度ケア会議	岡山保護観察所
薬物からの回復のための岡山県地域支援連絡協議会	岡山保護観察所
心神喪失者等医療観察法関係研究協議会	岡山地方裁判所

3 人材育成

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）
- ・精神保健福祉センターにおける特定相談事業実施要領
（昭和64年1月5日健医発第3号厚生省保健医療局長通知）
- ・心の健康づくり推進事業実施要領（昭和60年6月18日健医発第727号厚生省保健医療局長通知）

(2) 趣旨

保健所、保健センター、福祉事務所、社会復帰施設その他の関係諸機関等で精神保健福祉業務に従事する職員等に、専門的研修等の教育研修を行い、技術水準の向上を図る。

(3) 事業内容

ア 研修実績

【平成28年度】

	研修名	開催日	受講者数	対象	内容
ひきこもり対策推進事業	第1回 ひきこもりサポーター養成セミナー	H28.11.2	13人	ひきこもりサポーターになることを希望する大学生・大学院生	講義 「ひきこもりの心性」 講師：岡山県精神科医療センター 精神科医 池田 伸 氏
	第2回 ひきこもりサポーター養成セミナー	H28.11.10	13人	ひきこもりサポーターになることを希望する大学生・大学院生	1. サポーター活動について紹介 2. サポーター活動を想定したロールプレイ
	ひきこもり支援従事者研修会	H28.11.22	48人	ひきこもり支援に携わっている支援者	1. 講演 「長期・年長のひきこもる人の理解と支援」 講師： 日本福祉大学心理臨床研究センター 臨床心理士 竹中 哲夫 氏 2. 事業報告 3. ワーク（事例検討）

児童思春期対策事業	こころの健康早期支援事業専門研修	H28.7.15 14:00～16:00 高島中学校	18人	高島中学校教職員	講演「統合失調症の理解のために」 講師：こころの健康センター 心理士 ピアセンタークローバー 森本 隆道 氏 坪井 陽子 氏
		H28.8.2 14:00～15:40 石井中学校	120人	石井中学校区の 保育園、幼稚園、 小学校、中学校 の教職員	
		H28.8.8 14:00～16:00 御津中学校	10人	御津中学校教職員	講演「統合失調症の理解のために」 講師：こころの健康センター 心理士 ピアセンタークローバー 森本 隆道 氏 木曾 律子 氏
		H28.8.10 9:15～10:50 桑田中学校	149人	桑田中学校区の 保育園、幼稚園、 小学校、中学校 の教職員	講演「統合失調症の理解のために」 講師：こころの健康センター 心理士 ピアセンタークローバー 富永 憲一 氏 嘉数 実加 氏
依存症対策事業	アルコール依存症支援者専門研修	第1回 H28.7.11 13:30～15:30 会場：保健福祉会館	16人	保健所、保健センター、地域包括支援センター、福祉事務所等の職員	講義「アルコール対策の動向と一次予防2016」 講師：慈圭病院 医師 田中 増郎 氏
		第2回 H28.8.2 10:00～12:00 会場：ヒューアリティまきび	68人		講義「アルコール依存症の理解と支援」 講師：岡山県精神科医療センター 医師 角南 隆史 氏
		第3回 H28.11.18 13:30～16:00 会場：保健福祉会館	22人		講義「CRAFT を活用した効果的な家族支援」 講師：藍里病院 副院長 吉田 精次 氏
		第4回 H29.1.27 13:30～16:30 会場：ヒューアリティまきび	28人		講義『動機づけ面接法：「変わらない人」を「変わる人」に変えるー基礎知識から臨床へ』 講師：成増厚生病院 診療部長 後藤 恵 氏
	事例に学び 事例でつながる アルコール専門研修	第13回 H28.6.13 19:00～20:45 会場：岡山市立市民病院	132人	一般医療機関・アルコール専門病院の医師及びコメディカルスタッフなど	事例 「総合病院との連携により依存症治療へつながった一例～連携の困難さと回復の過程」
		第14回 H28.9.13 19:00～20:45 会場：岡山済生会総合病院	111人		事例 「アルコール依存症とレジリエンス～虐待されて育った成人の依存症の一例へ」

依存症対策事業	事例に学び 事例 でつながる アル コール専門研修	第15回 H28.12.19 19:00～20:50 会場：岡山ろう さい病院	74人	一般医療機関・ アルコール専門 病院の医師及び コメディカルス タッフなど	事例 「アルコール依存症の方の訪問看護や デイサービスなどの導入にあたって工 夫していること、困ったこと」
	一般医療機関アル コール専門研修	H29.2.27 19:00～20:45 会場：ピュアリー まきび	104人	市内医療保健福 祉関係者	情報提供 「医療機関を受診する患者の飲酒に関 する調査報告」 情報提供者： 岡山市こころの健康センター 精神保健福祉士 講演 「日常診療におけるアルコール問題 －誤解と対策－」 講師： 名古屋大学大学院医学系研究科総合医 学専攻総合診療医学分野 教授 伴 信太郎 氏 司会：川口メディカルクリニック 院長 川口 光彦 氏
	薬物依存基礎研修	H29.3.10 13:30～16:00 岡山市職員研修 所	33人	保健所、保健セ ンター、地域包 括支援センタ ー、福祉事務所 等の職員	講義「薬物依存症を取り巻く現状と基 礎知識」 岡山県精神科医療センター 医師 橋本 望 氏 体験発表：「薬物依存症回復者の 立場から」 特定非営利活動法人 岡山ダルク代表 千坂 雅浩 氏 体験発表：「薬物依存症家族の 立場から」 岡山家族会ぴあ 大月 平治郎 氏
精神障害者地域支援システム整備事業	地域精神保健危機 介入・継続支援体制 整備事業	H28.10.27 13:30～16:30	18人	南区南保健セン ター	情報提供「最近の精神保健福祉の動向 とこころの健康センターの取り組みに ついて」 講師：こころの健康センター 保健師 事例検討と各地区の状況などを含めた 意見交換
		H28.12.1 13:30～15:00	12人	北区中央保健セ ンター	講演「アルコール依存症と家族支援」 講師：ゆうクリニック 院長 柳田 公佑 氏 事例検討
		H28.12.12 15:30～17:00	12人	南区西保健セン ター	事例検討と意見交換
		H28.12.13 15:30～17:00	16人	東区保健センタ ー	講話「保健師活動と精神保健活動」 講師：こころの健康センター 保健師

精神障害者地域支援システム整備事業	地域精神保健危機介入・継続支援体制整備事業	H28.12.14 14:00～15:00	9人	北区北保健センター	情報提供「ひきこもり支援センターの概要対象となるケースの紹介」 講師：こころの健康センター 保健師
		H29.1.12 14:00～15:30	10人	中区保健センター	講演「境界性パーソナリティ障害と発達障害の違いとその対応」 講師：岡山県精神科医療センター 医師 大重 耕三 氏
	地域移行・地域定着支援事業研修会	H28.9.27 14:00～16:00 会場：岡山ふれあいセンター	33人	岡山市地域包括支援センター職員	講演「精神科入門」 講師：希望ヶ丘ホスピタル 医師 日笠 完治 氏
		H28.9.30 10:00～12:00 会場：岡山ふれあいセンター	30人	岡山市地域包括支援センター職員	講演「障害があっても高齢になっても地域で支えるために 連携について」 講師：万成病院 地域連携室 精神保健福祉士 菅原明美 氏
		H28.10.6 14:00～16:00 会場：岡山ふれあいセンター	242人	岡山市内の介護保健事業所の介護支援専門員	講演「精神障害者を支援するために知っておきたいこと ～その対応や連携のポイント～」 講師：岡山市立市民病院 心療内科部長 岡部 伸幸 氏
		H28.11.17 13:30～16:30 会場：ピュアリティまきび	65人	岡山県内の保健所、医療機関及び相談支援事業所職員	精神障害者地域支援対応力向上研修会（岡山県と共催） 講演「生活のしづらさを抱える人たちが安心してその人らしく生きることを支援するために 私たちにできること」 講師：NPO 法人じりつ 岩上 洋一 氏
		H28.11.30 14:00～16:00 会場：山陽病院	21人	岡山市内の精神科病院及び相談支援事業所職員	実践報告会 講演「事例を通して退院支援を考える」 講師：山陽病院 内山 恵理 氏 slow café タンポポ 安田 真里 氏 多機能型事業所クラシヲ 朝倉 吉宣 氏 こころの健康センター 精神保健福祉士
児童思春期対策事業	思春期精神保健専門研修会	第1回 H28.9.8 13:30～15:30 会場：ピュアリティまきび	55人	思春期精神保健に関わる機関の職員 思春期精神保健に関わる機関の職員	講演「思春期と精神疾患：強迫性障害」 講師：岡山市立市民病院 心療内科部長 岡部 伸幸 氏

児童思春期対策事業	思春期精神保健専門研修会	第2回 H28.10.17 13:30～15:30 会場：ピュアリティまきび	49人	思春期精神保健に関わる機関の職員 思春期精神保健に関わる機関の職員	講演「思春期と精神疾患：うつ病」 講師：兵庫県立光風病院 医師 補永 栄子 氏
自殺予防情報センター事業	自殺予防のための支援者研修会	H28.10.31 13:30～15:30 会場：ピュアリティまきび	67人	教育、医療、保健、福祉、司法、消防、救急、警察等の関係機関職員	講演 「私たちにもできる心の応急手当～自殺のサインとその対処法～」 講師： 国立精神・神経医療研究センター 鈴木 友理子 氏
普及啓発事業	こころの健康講演会	H28.12.7 13:30～15:30 会場：ピュアリティまきび	209人	岡山市内の精神医療保健福祉関係者および教育関係者	講演 「それってボーダーライン？～境界性人格障害と発達障害の違いと対応～」 講師：京都大学大学院医学研究科 医師 野間 俊一 氏

【平成 29 年度】

	研修名	開催日	受講者数	対象	内容
ひきこもり対策事業	ひきこもり支援従事者研修会	H29.10.27 13:15～16:45 会場：さんかく岡山	44人	ひきこもり支援に携わっている支援者	1. 講演 「CRAFTに基づくひきこもりの家族支援」 講師：徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 境 泉洋 氏 2. ワークショップ（CRAFT実践） 3. パネル展示による事例報告
児童思春期対策事業	思春期精神保健専門研修会	第1回 H30.1.16 15:00～17:00 会場：ピュアリティまきび	39人	思春期精神保健に関わる機関の職員	講演 「思春期と精神疾患：性同一性障害」 講師：大阪医科大学 准教授 康 純 氏
		第2回 H30.2.1 13:30～15:30 会場：ピュアリティまきび	42人		講演 「思春期と精神疾患：複雑性 PTSD～虐待やいじめとの関連」 講師：なかのクリニック 院長 中野 善行 氏

児童 春期対策事業	こころの健康早期 支援事業専門研修	H29.10.11 後楽館中学校	20人	後楽館中学校教 職員	講演 「こころの疾病の理解のために」 講師：こころの健康センター 心理士 ピアセンターコーパー 木曾律子 氏
自殺対策推進セ ンター事業	自殺予防のための 支援者研修会	H29.11.13 13:30～15:30 会場：ピュアリティ まきび	32人	教育、医療、保 健、福祉、司法、 消防、救急、警 察等の関係機関 職員	講演 「救急現場でできる精神科医療ー自 殺予防を目指してー」 講師： 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉 部精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 五明 佐也香 氏
依存症対策事業	アルコール依存症 支援者専門研修	第1回 H29.7.3 13:30～15:30 会場：岡山市保 健福祉会館	48人	保健所、保健セ ンター、地域包 括支援センタ ー、福祉事務所 等の職員	講義「アルコール対策の動向と一時予 防2017」 講師：慈圭病院 医師 田中 増郎 氏
		第2回 H29.8.1 10:00～12:00 会場：ピュアリティ まきび	74人		講義「アルコール依存症の理解と支 援」 講師：岡山県精神科医療センター 医師 角南 隆史 氏 体験発表 講師：岡山県酒新生会 副理事長 宗田 基志 氏
		第3回 H29.9.15 13:00～16:30 会場：勤労者福 祉センター	56人		講義「CRAFT を活用した効果的な家 族支援」 講師：藍里病院 副院長 吉田 精次 氏 体験発表 講師：岡山県酒新生会 家族会 岡 三代子 氏
		第4回 H29.11.17 13:30～16:30 会場：勤労者福 祉センター	65人		講義『動機づけ面接法：「変わらない 人」を変える面接技法～変わら ない人は迷っている人』 講師：成増厚生病院 診療部長 後藤 恵 氏
	事例に学び 事例 でつながる アル コール専門研修	第16回 H29.6.27 19:00～20:55 会場： 川崎医科大学総 合医療センター	74人	一般医療機関・ アルコール専門 病院の医師及び コメディカルス タッフなど	事例 「クリニック・総合病院・単科精神科 病院で治療が難渋しているアルコ ール依存症者の一例」

依存症対策事業	事例に学び 事例 でつながる アル コール専門研修	第17回 H29.9.5 19:00～20:45 会場：岡山大学病院	78人	一般医療機関・ アルコール専門 病院の医師及び コメディカルス タッフなど	事例 「繰り返す全身状態悪化時にも飲酒 を隠し続けた女性の一例」
		第18回 H29.12.8 19:00～20:45 会場：岡山県精 神科医療センター	68人		事例 「精神科入院を拒否し続けたが、肝性 昏睡を経て精神科入院につながった 一例」
	一般医療機関アル コール専門研修	H30.2.20 19:00～20:45 会場：ヒューアリティ まきび	136人	市内医療保健福 祉関係者	<u>事例紹介</u> 情報提供「アルコール依存症から回復 して今思うこと」 情報提供者：希望ヶ丘ホスピタル 看護師 日下 誠 氏 <u>講演</u> 「多量飲酒者に対する節酒指導 ～ブリーフインターベンション～」 講師：(独) 国立病院機構肥前精神医 療センター 院長 杠 岳文 氏
	薬物依存症基礎研 修	H29.12.15 14:00～16:00 会場：岡山市保 健福祉会館	27人	市内医療保健福 祉関係者	講演「薬物依存症を取り巻く現状と基 礎知識」 講師：岡山県精神科医療センター 医師 橋本 望 氏 体験発表 「薬物依存症回復者の立場から」 講師：特定非営利法人岡山 DARC 山口 健次 氏 体験発表 「薬物依存症家族の立場から」 講師：岡山家族会びあ 大月 平治郎 氏
精神障害者地域支援システム整備事業	地域移行・地域定着 支援事業研修会	H29.7.5. 13:30～15:30 会場：岡山ふれ あいセンター	35人	地域包括支援セ ンター職員	講演「精神科入門」 講師：岡山市市民病院 心療内科部長 岡部 伸幸 氏
		H29.7.19 13:30～15:30 会場：岡山ふれ あいセンター	33人		講演「精神科入門」 講師：林道倫精神科神経科病院 精神保健福祉士 星 昌子 氏

精神障害者地域支援システム整備事業	地域移行・地域定着支援事業研修会	H29.11.30 13:30～15:30 会場：ピュアティ まきび	56人	介護保険事業者	講演「精神科入門」 講師：ほしあい心療内科 院長 星合 雅彦 氏
		H30.3.22 10:00～12:00 慈圭病院	37人	岡山市内精神科 病院職員及び 相談支援事業所 職員	実践報告会 慈圭病院 飯嶋 るみ 氏 支援センターコンドル 山本 博宣 氏 岡山南障害者支援センター 香川 正憲 氏 クラシヲ 朝倉 吉宣 氏
	地域精神保健危機 介入・継続支援体制 整備事業	H29.9.8 13:30～16:20	39人	県内の市町村の 精神保険福祉関 係者	精神障害者地域支援対応力向上研修 (岡山県と共催) 講演：「ストレングスマデルに基づく 支援の実際」 講師：早稲田大学人間科学学術院 教授 田中 英樹 氏
		H29.10.16 13:30～15:20	10人	南区南保健セン ター職員	情報提供「こころの健康センターの ケース支援について」 意見交換会 講師 岡山市こころの健康センター 所長 太田 順一郎
		H29.10.23 13:30～15:15	12人	中区保健センタ ー職員	情報提供「こころの健康センターに おける複雑困難事例」 意見交換会 講師 岡山市こころの健康センター 所長 太田 順一郎
		H29.12.4 14:00～15:40	12人	北区中央保健セ ンター職員	情報提供「こころの健康センターの ケース支援について」 意見交換会 講師 岡山市こころの健康センター 所長 太田 順一郎
		H29.12.12 13:30～14:45	12人	東区保健センタ ー職員	講話「こころの健康センターの紹介と 地域精神保健活動」 意見交換会 講師 岡山市こころの健康センター 保健師
		H30.2.14 13:00～14:45	12人	北区北保健セン ター職員	情報提供「こころの健康センターの ケース支援について」 事例検討会 講師 岡山市こころの健康センター 所長 太田 順一郎
		H30.3.12 15:30～16:55	7人	南区西保健セン ター	情報提供「こころの健康センターの ケース支援について」 意見交換会 講師 岡山市こころの健康センター 保健師

精神障害者地域支援システム整備事業	地域精神保健危機介入・継続支援体制整備事業	H29.8.22 16:00～18:20	8人	東区包括支援センター職員	事例検討会
		H29.10.23 15:10～17:00	18人	北区中央包括支援センター職員	
		H29.10.31 10:00～12:10	10人	南区南包括支援センター職員	
普及啓発事業	こころの健康講演会	H29.12.13 13:00～15:30 会場：ピュアリティ まきび	167人	岡山市内の精神医療保健福祉関係者および教育関係者	講演 「衝動性が高い人に対する理解と対応」 講師 京都大学大学院医学研究科 講師 野間 俊一 氏

イ 講師派遣

【平成 28 年度】

依頼者	開催日	受講者数	対象	演題	講師
岡山市教育委員会 指導課	H28.5.6	205人	市内幼・小・中・高の危機管理担当者	「自殺予防について」	保健師
岡山市ふれあい公社 地域包括支援課	H28.5.20	20人	包括支援センター新任職員	「こころの健康センターの紹介」	保健師
一宮地区民生委員 児童委員研修会	H28.6.17	28人	一宮地区民生児童委員 北地域包括支援センター職員	「岡山市ひきこもり地域支援センター紹介」	保健師
岡山大学病院	H28.8.18	15人	岡山大学病院出張肝臓病教室 参加者	「おいしくお酒を飲み続けるために」	所長
岡山市社会福祉協議会	H29.1.26	39人	市民後見人養成研修会受講者	「精神障害者の理解のために」	保健師
岡山市薬剤師会	H29.3.15	100人	会員	自殺予防対策 ゲートキーパー研修	保健師 臨床心理士

【平成 29 年度】

依頼者	開催日	受講者数	対 象	演 題	
岡山市教育委員会指導課	H29.4.27	180 人	市内幼・小・中危機管理担当者	「自殺予防について」	保健師
岡山ふれあい公社地域包括支援課	H29.5.19	14 人	包括支援センター新任職員	「こころの健康センターの紹介」	保健師
岡山市保健所健康づくり課	H29.5.22	13 人	岡山市保健所職員	「岡山市自殺予防情報センターご紹介」	臨床心理士
北区中央福祉区民生委員児童委員協議会	H29.6.27	204 人	北区中央福祉区民生委員児童委員	「岡山市こころの健康センターの業務と自殺対策について～地域で気づき・つながる命～」	保健師
徳島県精神保健福祉センター	H29.7.12	15 人	徳島県内保健所のこころの健康担当職員等	「おいしくお酒を飲むための教室」講義・演習	所長
富山学区愛育委員会	H29.7.25	53 人	富山学区愛育委員 一般市民	自殺予防研修 ～なぜ「死にたい」と思うのか？ うつ病と自殺の関係性～	臨床心理士
閑谷ワークセンターせと	H29.11.16	12 人	閑谷ワークセンターせと職員	「岡山市こころの健康センターの業務と精神障害者の理解について」	保健師
岡山市社会福祉協議会	H29.12.6	30 人	市民後見人養成研修会受講者	障害者（発達障害、高次脳機能障害、精神障害）の特性について	所長
岡山県臨床心理士会	H30.1.14	70 人	岡山県臨床心理士会員	多職種から臨床心理士に期待すること～地域における	精神保健福祉士
岡山市薬剤師会	H30.3.28	70 人	岡山市薬剤師会会員	「岡山市自殺予防情報センターご紹介」	保健師

4 普及啓発事業

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）
- ・精神保健福祉センターにおける特定相談事業実施要領
（昭和64年1月5日健医発第3号厚生省保健医療局長通知）
- ・心の健康づくり推進事業実施要領（昭和60年6月18日健医発第727号厚生省保健医療局長通知）

(2) 趣旨

一般住民に対し精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識、精神障害者の権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び保健センターが行う普及啓発活動に対して専門的立場から協力、指導及び援助を行う。

(3) 事業内容

ア パンフレット・リーフレット等の作成（120ページ参照）

岡山市こころの健康センター広報用パンフレット	こころの健康センター事業
アルコール依存症啓発ポスター（職域配布用2種）	依存症対策事業
お酒の飲み方セルフチェックポスター	
お酒の飲み方セルフチェックチラシ	
あなたの職場で「おいしくお酒を飲むための教室」開催しませんか？（教室募集チラシ）	
岡山アルコール依存症早期支援ネットワーク活動報告書	
アルコール相談機関紹介用リーフレット	
薬物関連問題相談先一覧チラシ	自殺対策事業
自殺遺族わかちあいパンフレット 大切な人をなくされたあなたに（増刷）	
あなたのつらい状況を誰かに相談できていますか（自殺予防カード）	
ご家族を自死でなくされたあなたに（カード）	
自殺予防情報センター案内パンフレット	
岡山市ひきこもり地域支援センター広報用パンフレット	ひきこもり対策
岡山市こころの健康センターだより第8号・第9号	センターだより

イ その他の普及啓発

自殺予防街頭キャンペーン（9月・3月）（保健所健康づくり課と共催）

自殺予防週間（9月）及び月間（3月）パネル展（保健所健康づくり課と共催）

アルコール関連問題啓発週間（11月）パネル展（保健所健康づくり課と共催）

レディオMOMO（岡山シティエフエム）

年度	放送日	テーマ
H28	12月13日	岡山市精神医療審査会について
	1月10日	薬物依存症について
H29	6月20日	岡山市ひきこもり地域支援センターについて
	1月9日	精神障害者保健福祉手帳について

5 調査研究

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）

(2) 趣旨

地域精神保健福祉活動の推進、並びに精神障害者の社会復帰の促進、及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備し、市及び関係機関が行う精神保健福祉活動が効果的に展開できるよう資料を提供する。

(3) 調査内容

ア 学会発表一覧（論文・資料は47ページ以降参照）

年度	学会名	演題名
H28	第112回日本精神神経学会学術総会	「放射線による健康不安対策の推進」への精神科医の関与
	第33回中四国アルコール関連問題研究会 徳島大会	職域と協働した依存症予備軍対策 ～「おいしくお酒を飲むための教室」～
	International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions	Competency to consent to treatment in childhood and adolescence: National research in 2016
	第52回全国精神保健福祉センター研究協 議会	ひきこもり地域支援センターの支援により就労した事例の追跡調査
	第57回日本児童青年精神医学会	子どもの治療同意能力 ー2016年全国調査からー
	精神医療審査会全国連絡協議会シンポジ ウム	措置入院制度への提言ー日本精神神経学会における議論からー
	第36回日本社会精神医学会	ひきこもり地域支援センターの支援により就労した事例の追跡調査
H29	第113回日本精神神経学会学術総会	認知症初期集中支援チームの役割
	第34回中四国アルコール関連問題研究会 鳥取大会	一般医療機関とアルコール専門病院との連携について ～岡山アルコール依存症早期支援ネットワークの活動報告～
	第39回日本アルコール関連問題学会	医療機関を受診する患者の飲酒に対する内科医・外科医の意識調査
	第53回全国精神保健福祉センター研究協 議会	岡山市内精神科医療機関を対象とした認知行動療法ニーズ調査およ びうつ病集団認知行動療法プログラムの試験的取組

イ 調査研究一覧

年度	テーマ	担当
H28	平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業) アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究 アルコール依存症の早期発見・早期治療導入	研究協力者 太田順一郎 留田範子 土器悦子 岸倫衣
	平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業) 精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究 措置入院後の支援体制に関する研究	研究協力者 太田順一郎
	平成 28 年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託研究 長寿・障害総合研究事業・障害者対策総合研究開発事業 医療観察法における新たな治療介入法や、行動制御に係る指標の開発等に関する研究 措置入院者の実態把握と必要な医療密度に関する研究	研究協力者 太田順一郎
	平成 28 年度地域保健総合推進事業 保健所、精神保健福祉センターの連携によるひきこもり地域生活支援の状況と課題に関する研究	事業協力者 太田順一郎
H29	平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業) 精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究 措置入院後の支援体制に関する研究	研究協力者 太田順一郎
	平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業) 地域のストレンクスを活かした精神保健医療改革プロセスの明確化に関する研究 精神障害者の人権確保に関する研究	研究協力者 太田順一郎
	平成 29 年度地域保健総合推進事業 保健所、精神保健福祉センターの連携による、ひきこもりの精神保健相談・支援の実践研修と対応マニュアルの作成に関する研究	事業協力者 太田順一郎
	平成 29 年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託研究 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野) 医療観察法における、新たな治療介入法や、行動制御に係る指標の開発等に関する研究 措置入院者の実態把握と必要な医療密度に関する研究	研究協力者 太田順一郎

6 精神保健福祉相談事業

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条、第47条第1項、第2項、第5項
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）
- ・精神保健福祉センターにおける特定相談事業実施要領
（昭和64年1月5日健医発第3号厚生省保健医療局長通知）
- ・心の健康づくり推進事業実施要領（昭和60年6月18日健医発第727号厚生省保健医療局長通知）

(2) 趣旨

精神保健及び精神障害者福祉に関する相談及び指導のうち、複雑または困難なものについて心の健康相談から、精神科医療に係る相談、社会復帰相談をはじめ、アルコール・薬物、思春期等の特定相談を含め、精神保健福祉全般の相談を実施する。

(3) 業務内容

相談及診療は精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び診療で、複雑又は困難なケースを対象とする。

一般医療機関では取組みにくい領域を対象とした専門相談を設けており、「依存症相談」「思春期相談」「自死遺族専門相談」がある。

ア 相談

◆ 専門相談

毎月2回定例開催。予約制。精神科医等の専門職が対応する。

内 容	平成28年度		平成29年度	
	実人数	延人数	実人数	延人数
依存症相談	17	247	30	277
思春期相談	0	0	0	0
自死遺族相談	0	0	0	0

◆ こころの電話相談

区分 年度	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	こころの健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他※	計
28	40	1	22	6	10	38	297	64	19	0	2,174	2,671
29	26	4	22	2	10	28	180	47	16	0	2,391	2,726

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援

◆ 来所相談

区分 年度	老人精神保健	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャン ブル	思春 期	こころの 健康づくり	うつ・ うつ状態	摂食 障害	てん かん	その 他※	延人数 合計	実人数
28	0	1	12	4	4	85	87	36	0	0	945	1,174	294
29	1	8	28	2	5	94	54	38	0	2	1,250	1,482	334

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

◆ 訪問

区分 年度	老人精神保健	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャン ブル	思春 期	こころの 健康づくり	うつ・ うつ状態	摂食 障害	てん かん	その 他※	延人数 合計	実人数
28	2	259	40	0	0	47	62	39	3	0	942	1,394	276
29	8	575	39	0	2	33	48	81	0	1	1,037	1,824	301

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

イ 診療（外来診察・往診）

精神保健関係機関からの要請等により、精神科医が対応する。

<診療・往診の内訳>

	診察		往診	
	実人数	延人数	実人数	延人数
H28	85	410	34	552
H29	69	388	38	548

(実人数)

	H28	H29
F0 症状性を含む器質性精神障害	1	3
F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	14	12
F2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	31	30
F3 気分（感情）障害	15	6
F4 神経症障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	27	18
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	1	1
F6 成人のパーソナリティおよび行動の障害	16	21
F7 精神遅滞（知的障害）	1	2
F8 心理的発達の障害	13	13
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0	1
F99 精神障害、他に特定できないもの	0	0
合 計	119	107

7 その他事業

● 精神障害者地域支援システム整備事業

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）
- ・精神保健福祉センターにおける特定相談事業実施要領（昭和64年1月5日健医発第3号厚生省保健医療局長通知）

(2) 概要

「入院医療中心から地域生活中心へ」という方策を進めるため、「精神障害者地域移行・地域定着支援事業」に取り組むとともに、こころの健康センターの専門職員が病院を訪問し、病院職員と協力して「退院意欲向上支援」に取り組む。さらに、病院から地域生活への退院支援を併せて実施して、地域への定着支援を推進する。

(3) 内容

ア 地域移行・地域定着支援事業

○ 退院意欲向上支援

精神科病院に入院中の精神障害者に対して、病院内での行われているグループ活動に協力する形で、退院意欲の向上に取り組んでいる。また個別への支援では病院への訪問、面接や外出支援等を行った。

* 集団への支援（グループ活動）

	グループ活動			企画会議
	グループ数	回数	参加人数	回数
平成28年度	1	1	50人	8
平成29年度	1	8	52人	6

* 個別への支援

	支援人数 (実)	支援人数 (延)	支援内容内訳	
			面接・外出支援 ・TEL	関係機関と 連絡
平成28年度	7	218	127	91
平成29年度	7	195	142	53

○ 地域移行・地域定着支援

精神科病院に入院中の精神障害者に対して、病院や関係機関と協力して、退院に向けた支援及び、退院後地域で暮らしを持続するための支援を実施した。実施にあたっては、地域生活をしているピア・サポーターとの交流や地域施設の見学、外泊体験など社会資源の活用を行った。

		対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内容内訳	
				面接・外出支援 ・TEL	関係機関 と連絡
H28	移行	16	584	265	319
	定着	8	310	119	168
H29	移行	15	579	302	277
	定着	6	122	52	70

○ 精神障害者地域交流会

地域で生活している精神障害者や入院中の精神障害者と地域住民が直接交流する機会をつくることで、精神疾患に関する理解の普及啓発に努め、精神障害者の地域生活が安定する環境づくりを行っている。

【平成 28 年度】

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
実施日	平成 28 年 7 月 5 日	平成 28 年 11 月 25 日	平成 29 年 3 月 1 日
会 場	多機能型事業所 クラシヲ	岡山県総合グラウンド グラウンドクラブ	岡山市保健福祉会館 栄養指導室
内 容	事業所の紹介・見 学・プログラム参加	会食・意見交換	調理実習・意見交換
参加者数	13 人	15 人	15 人

【平成 29 年度】

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
実施日	平成 29 年 6 月 22 日	平成 29 年 11 月 2 日	平成 30 年 3 月 4 日
会 場	岡山市保健福祉会館 こころの健康相談室	NPO 法人おかやま UFE うてんて	岡山市保健福祉会館 栄養指導室
内 容	買い物体験・意見交 換	不動産会社との交流会 意見交換	調理実習・意見交換
参加者数	15 人	17 人	14 人

○ 被保護者精神障害者退院面接、市長同意入院面接

被保護精神障害者、市長同意入院者への面接支援や、福祉事務所・病院などと連携をとりながら、退院に向けた支援を行っている。

		対象者数 (実)	支援件数 (延)	支援内容内訳	
				面接・外出支援 ・TEL	関係機関 と連絡
H28	被保護	83	303	186	117
	市長	18	91	54	37
H29	被保護	74	251	145	106
	市長	30	83	62	21

イ 地域精神保健危機介入・継続支援体制整備事業

地域生活の維持・継続が困難となっている精神障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように地域支援を行っている。

	対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内容内訳				
			訪問	面接	診察 往診	機関相談	電話
H28	4	119	54	0	16	46	3
H29	3	39	20	0	2	8	9

● 依存症対策推進事業

(1) 根拠法令

- ・アルコール健康障害対策基本法
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）
- ・精神保健福祉センターにおける特定相談事業実施要領
(昭和64年1月5日健医発第3号厚生省保健医療局長通知)
- ・依存症総合相談支援事業実施要項（平成29年6月13日障発0613第2号）

(2) 概要

薬物、アルコールを中心とした依存の問題を抱える当事者、家族及び支援担当者に対し、助言、知識・情報提供など支援の充実を図るとともに効果的な依存症対策を推進する。

(3) 内容

ア 職域依存症対策推進事業

壮年期の習慣飲酒者に早期に介入し依存症への移行を予防するため、アルコール依存症予防早期介入実践プログラム「おいしくお酒を飲むための教室」を作成し、市内事業場において実施するとともに、産業保健分野との連携によりその普及を図る。

○アルコール依存症予防早期介入実践プログラム「おいしくお酒を飲むための教室」の実施

	プログラムA (初期介入プログラム) 講義+グループワーク			フォローアップ (継続的介入プログラム) グループワーク			プログラムB 講演のみ(1時間)		
	事業場数	回数	人数	事業場数	回数	人数	事業場数	回数	人数
H28	9	10	223	3	3	51	3	3	147
H29	6	6	110	0	0	0	5	5	275

○職域依存症対策推進モデル事業評価検討(プログラム検討班)会議

	開催回数	
	評価検討会議	プログラム検討班
H28	0	1
H29	1	0

● 地域自殺対策推進センター事業

(1) 根拠法令

- ・自殺対策基本法(平成 18 年 6 月成立、平成 28 年 3 月改正)
- ・自殺総合対策大綱(平成 29 年 7 月閣議決定)
- ・地域自殺予防情報支援センター運営事業の実施について
(平成 21 年 3 月 27 日付け障発第 0327005 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知)

(2) 概要

全国では毎年 2 万人を越える人が、岡山市においては毎年 100 人前後の人が自殺で亡くなっている。国では、自殺対策基本法の制定や自殺総合対策大綱を策定し、国、地方自治体、関係団体、民間が広く連携しながら自殺対策に取り組むこととしている。岡山市こころの健康センターでは、H27 年 4 月に「岡山市自殺予防情報センター」(H29 年 4 月より自殺対策推進センター)を開設し、自殺の危機要因を複数もつハイリスク者に対する相談支援を救急病院等と連携し行うとともに自死遺族支援及び支援者の人材育成等を行っている。

(3) 内容

ア 相談支援

対応事例数 (実)

	H28	H29
新規	50	64
継続	20	36
計	70	100

支援件数 (延)

	H28	H29
電話	403	440
面接	173	132
訪問	171	262
関係機関からの相談	178	188

イ 機関連携

○巡回訪問

		H28	H29
救急外来	病院数	9	12
	回数	25	30
精神科病院	病院数	1	0
	回数	1	0
警察署	回数	3	0

ウ 弁護士派遣

	派遣回数
H28	4
H29	4

エ 特別相談会（暮らしとこころの相談会）

	開催回数	参加者数	
		実	延
H28	2	13	13
H29	2	7	7

オ 自死遺族支援

○わかちあいの会

	開催回数	参加者数	
		実	延
H28	12	4	11
H29	12	6	11

○交流会（～平成 28 年度）

	開催回数	参加者数	
		実	延
H28	1	4	4

カ 人材育成

○自殺予防のための支援者研修会

	開催回数	参加者数
H28	1	67
H29	1	32

○自殺予防対策ゲートキーパー研修

	講師派遣回数	受講者数（延）
H28	2	300
H29	3	136

● ひきこもり地域支援センター

(1) 根拠法令

- ・生活困窮者自立支援法(平成 25 年度法律第 105 号)
- ・生活困窮者自立相談支援等事業実施要綱

(2) 概要

ひきこもりの状態にある本人や家族が、地域の中で最初にどこに相談したらよいかを明確にして、より支援に結びつきやすくすることを目的に、ひきこもりに特化した相談窓口である「岡山市ひきこもり地域支援センター」を設置し、ひきこもり本人や家族等への支援を実施する（一部事業は社会福祉法人あすなろ福祉会へ委託）。

(3) 内容

ア 相談支援

➤ 専用電話相談（延）

相談者の種別	本人	家族	関係者	その他	不明	総数
平成 28 年度	21	85	12	0	4	122
平成 29 年度	25	119	17	3	10	174

性別	男性	女性	不明	総数
平成 28 年度	86	32	4	122
平成 29 年度	123	34	17	174

➤ 来所相談（実）

・相談者の種別

相談者の種別	本人	家族	本人+家族	関係者	その他	不明	総数
平成 28 年度	48	44	26	0	0	0	118
平成 29 年度	73	66	19	2	0	0	160

・対象者性別

性別	男性	女性	不明	総数
平成 28 年度	97	21	0	118
平成 29 年度	133	27	0	160

・対象者年齢 ※初回時点

	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	総数
平成 28 年度	0	15	56	29	17	1	0	118
平成 29 年度	0	18	69	49	23	1	0	160

・ひきこもり期間 ※初回時点

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	不明	総数
平成28年度	13	6	27	12	21	27	12	118
平成29年度	23	10	41	13	27	38	8	160

・相談経路 ※複数回答あり

	平成28年度	平成29年度
広 報	24	14
保健所	7	0
市町村	14	16
警 察	1	0
医療機関	18	10
福祉機関	6	2
教育団体	9	6
民間団体	0	2
その他	81	81
不 明	33	29
総 数	193	160

・活動範囲 ※初回時点

	平成28年度	平成29年度
就労または就学・非ひきこもり	3	4
未就労・未就学・友人関係あり・地域活動参加	10	9
未就労・未就学・友人関係なし・外出可能	41	68
夜間・近所など条件付で外出可能	22	35
外出不可・家庭内では自由に活動可能	20	20
自室内に閉じこもり	4	5
その他	6	5
不 明	12	14
総 数	118	160

イ 小集団活動（ミニ交流会）

平成28年度 実施回数：3回 参加者数 11名

内容：お菓子づくり、うどんづくり、クリスマスカード作りなど

平成29年度 実施回数：4回 参加者数 19名

内容：調理（カレー）、カレンダー作り、ハローワークプラザ等の見学など

ウ 家族教室

【目的】 ひきこもりの子どもがいる家族を対象に教室を開催し、ひきこもりの子どもに対する理解を深め、子どもとの関わりについて考える機会とする。また、家族同士が交流し、エンパワメントする場とする。

【対象】 ひきこもり支援センターを利用している家族から選定。

【実施内容】

➤ 平成 28 年度

日時・場所	内 容	参加者
【第 1 回目】 2月 21 日 (火) 10:00～12:00 こころの健康相談室	1.オリエンテーション 2.講義「ひきこもりについて」 講師：岡山大学大学院教育学研究科 教授 塚本 千秋 氏 3.質疑応答	24 名
【第 2 回目】 3月 7 日 (火) 10:00～12:00 機能回復訓練室	1.オリエンテーション 2.体験談発表 3.座談会	25 名

➤ 平成 29 年度

日時・場所	内 容	参加者
【第 1 回目】 2月 9 日 (金) 13:30～15:30 ほっとプラザ大供	1.オリエンテーション 2.講義「ひきこもりを知ろう」 講師：岡山大学大学院教育学研究科 教授 塚本 千秋 氏 3.質疑応答	6 名
【第 2 回目】 2月 14 日 (水) 10:00～12:00 ほっとプラザ大供	1.オリエンテーション 2.体験談発表 3.質疑応答 4.座談会	11 名

エ 委託事業（居場所・就労支援・社会参加応援）

【平成 28 年度】

利用者数（実）

	～10代	20代	30代	40代	50代	不明	合計
男性	0	7	8	4	0	0	19
女性	0	4	5	0	0	0	9
合計	0	11	13	4	0	0	28

支援回数

	支援回数			
	面接	訪問	電話	メール
本人	200	2	106	100
家族	11	0	29	1
その他	1	0	31	0
合計	212	2	166	101

社会参加応援

	実施回数	利用者数	
		実	延
集団プログラム	293	15	782
個別プログラム	131	5	121

就労支援

実施回数	利用者数
84	92

【平成 29 年度】

利用者数（実）

	～10代	20代	30代	40代	50代	不明	合計
男性	0	6	3	3	0	0	12
女性	0	4	2	2	0	0	8
合計	0	11	5	4	0	0	20

支援回数

	支援回数			
	面接	訪問	電話	メール
本人	139	12	104	151
家族	3	0	17	8
その他	0	0	8	0
合計	142	12	129	159

社会参加応援

	実施回数	利用者数	
		実	延
集団プログラム	229	22	491
個別プログラム	57	6	59

就労支援

実施回数	利用者数
121	129

オ 人材育成

➤ ひきこもりサポーター派遣事業

ひきこもりサポーター養成セミナー（全2回）

平成28年度 開催回数：2回 参加者数：26名

平成29年度 開催回数：0回 参加者数：0名

➤ ひきこもり支援従事者研修（委託）

平成28年度 開催回数：1回 参加者数：48名

平成29年度 開催回数：1回 参加者数：44名

● 児童思春期精神保健対策事業

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）
- ・精神保健福祉センターにおける特定相談事業実施要領

（昭和64年1月5日健医発第3号厚生省保健医療局長通知）

(2) 概要

思春期は心身の変化が著しく、子どもから大人へと少しずつ成長していく時期であり、自意識のめばえや人間関係の複雑化などによって悩みが多くなることもある。場合によっては、苦しさや辛さからこころの健康を保てなくなることがある。

また、精神的に不安定な時期にある思春期の子どもの問題行動が多く発生しており、不登校やひきこもり、家庭や学校での暴力など、問題は複雑・多様化していることから、児童思春期精神保健対策を推進し、子どもの成長発達を支援する。

(3) 内容

ア 思春期精神保健事例に対するケースマネジメント

さまざまな思春期の問題に効果的な支援を行うため、教育・保健・医療・福祉・司法等の関係機関が連携しながら多職種の有機的な連携を支援するためケースマネジメントを行う。

年度	件数	アセスメント会議
平成28年度	6件	15回
平成29年度	7件	32回

イ きらりの会（当事者グループ活動）

【平成28年度】

開催日	内容	参加人数
1月30日	お菓子作り	1人

【平成29年度】

開催なし

ウ こころの健康早期支援事業

市内の中学生が精神疾患に対する正しい知識を習得することで、その誤解や偏見を防止し、更に、自らが精神的不調や疾病を抱えた際に早期に専門医療や相談支援に結びつくことを目的として、教師が精神疾患をテーマに授業を行っている。

○ 人権教育での取り組み（授業）

人権教育の中で精神疾患について学び、正しい知識を得ることを目的に授業を実施する。

	中学校名	授業回数	対象
H28	岡山市立桑田中学校	3回	1年生（8クラス 251名）
	岡山市立御津中学校	2回	2年生（2クラス 61名）
	岡山市立石井中学校	2回	2年生（4クラス 126名）
	岡山市立高島中学校	2回	2年生（6クラス 189名）
H29	岡山市立岡山後楽館中学校	2回	全学年（6クラス 220名）

○ 実践評価検討会

精神科医、教育委員会、学校関係者などで学習内容などの評価検討を行う。

	中学校名	回数	参加者（実人数）	参加者（延人数）
H28	岡山市立桑田中学校	2回	14人	27人
	岡山市立御津中学校	2回	7人	13人
	岡山市立石井中学校	2回	8人	15人
	岡山市立高島中学校	2回	11人	21人
H29	岡山市立岡山後楽館中学校	2回	14人	18人

○ 専門相談

精神疾患の疑いのある生徒に関して生徒自身やその家族、または教員に対し、精神科医などを派遣し専門相談を実施する。

H28、H29 実施校なし

エ 人材育成

○ 研修

・思春期精神保健専門研修会

平成28年度 開催回数：2回 参加者数（延）：104人

平成29年度 開催回数：2回 参加者数（延）：81人

・こころの健康早期支援事業専門研修（教職員対象）

精神疾患に関する理解を深め、早期支援に必要な知識を得るために教職員を対象に専門研修を実施する。

	中学校名	回数	参加者（実人数）
H28	岡山市立桑田中学校	1回	120人
	岡山市立御津中学校	1回	20人
	岡山市立石井中学校	1回	120人
	岡山市立高島中学校	1回	10人
H29	岡山市立岡山後楽館中学校	1回	13人

8 組織育成

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条
- ・精神保健福祉センター運営要領（平成8年1月19日健医発第57号厚生省保健医療局長通知）

(2) 趣旨

地域精神保健福祉の向上を図るためには、地域住民による組織的活動が必要である。このためセンターは、精神保健福祉に関する民間団体等の組織育成に努めるとともに、保健所、保健センター並びに地区単位での組織の活動に協力する。

(3) 業務内容

断酒会	NPO法人 岡山県断酒新生会・家族会	・回作成の会報誌やリーフレットをセンター窓口へ配置・配布 ・会主催の研修会や大会への出席 研修会への講師依頼
	NPO法人 おかやま たけのこ会・家族会	
DARC	岡山ダルク	・会作成の会報誌やリーフレットをセンター窓口へ配置・配布 ・研修会への講師依頼
家族会	岡山家族会びあ	
GA	GA倉敷 岡山会場	・会作成のミーティング案内のセンター窓口への配置・配布

9 精神医療審査会

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第12条、第38条の3、第38条の5
- ・精神医療審査会運営マニュアル（H12.3.18 障第209号厚労省障害者保健福祉部長通知）

(2) 趣旨

精神医療審査会（以下、「審査会」という）は精神障害者の人権に配慮しつつその適正な医療及び保護を確保するために、精神科病院に入院している患者の入院の適否、処遇等について、専門的かつ独立的に審査を行う機関である。審査会は業務の専門性に配慮するとともに、審査の客観性、独立性の一層の確保を図るため、その事務等は精神保健福祉センターにおいて行うものとされている。

(3) 業務の概要

岡山市精神医療審査会は6つの合議体からなり、1合議体当たりそれぞれ医療委員（精神保健指定医）3名、法律家委員（弁護士）1名、有識者委員1名（精神保健福祉士及び保健師）の5名、合計30名で構成されている。また、合議体に属さない予備委員は、平成29年度末で合計5名（法律家委員3名、有識者委員2名）となっている。

審査会は①精神科病院から提出される措置入院者定期病状報告書、医療保護入院者入院届及び医療保護入院者定期病状報告書（以下「定期の報告等」という）の審査、②精神科病院の入院患者からの退院請求及び処遇改善請求（以下「退院等の請求」という）の審査を行う。

ア 審査会の開催回数

【全体会議】

全体会議は、各合議体の審査基準等の調整等を行う会議であり、原則として年1回開催する。

	開催回数	主な議題
28年度	1回	岡山市精神医療審査会の合議体を増加させ、6合議体で運営を行うこととした。また、定期病状報告書等の審査について、返戻基準を作成するためのワーキンググループを立ち上げた。
29年度	1回	定期病状報告書等の審査について、ワーキンググループで作成した岡山市精神医療審査会報告書等返戻基準（案）について協議した。また、定期病状報告書等の審査に関する疑義について議論・整理した。

【合議体】

定期の報告等や退院等の請求の審査は、各合議体の会議において行う。合議体の審査結果は、審査会の決定となる。

平成28年度・・・30回 平成29年度・・・30回

イ 審査件数

平成 28 年度	件 数	うち「入院又は処遇は不適当」	うち「他の入院形態への移行が適当」
措置入院者定期病状報告	10	0	0
医療保護入院者の定期病状報告	995	0	0
医療保護入院者の入院届	2,158	0	0
退院請求	65	0	5
処遇改善請求	7	0	0
平成 29 年度	件 数	うち「入院又は処遇は不適当」	うち「他の入院形態への移行が適当」
措置入院者定期病状報告	7	0	0
医療保護入院者の定期病状報告	827	0	0
医療保護入院者の入院届	2,153	0	0
退院請求	67	0	6
処遇改善請求	3	0	0

平成 22 年度からは、退院等の請求を行った患者に対して弁護士による権利擁護を受ける権利があることを書面にて告知（意見聴取の実施通知書に弁護士会の電話番号を記載）しており、又、患者、家族及び代理人である弁護士による合議体の会議での意見の陳述も実施している。

	平成 28 年度	平成 29 年度
弁護士である代理人がついた退院等の請求	0 件	2 件
患者・家族及び代理人による意見陳述の実施	3 件	2 件



10 自立支援医療費（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

(1) 根拠法令

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条第4項
- ・精神障害者保健福祉手帳制度実施要領（H7.9.12 健医発第1132号厚生省保健医療局長通知）
- ・自立支援医療費（精神通院医療）支給認定実施要綱

（H18.3.3 障発第03030002号厚労省障害保健福祉部長通知）

(2) 趣旨

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第45条第1項の規定による精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第52条第1項の規定による自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定を行うものとする。

(3) 業務の概要

精神障害者保健福祉手帳申請に対する判定及び自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定を、精神科医師5名で構成される岡山市自立支援医療費（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳審査委員会（以下「審査委員会」という）において行っている。

当センターでは、申請窓口である保健センターで受理した申請書の送達を受け、審査委員会に付議、審査結果に基づき精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療受給者証（精神通院医療）を発行している。

ア 審査委員会の開催回数

平成28・29年度ともに12回（毎月1回）

イ 精神障害者保健福祉手帳

◆審査件数

精神障害者保健福祉手帳を障害年金証書等により申請する場合は審査委員会への付議を要さず、年金事務所等へ障害等級、傷病名等を照会することで、判定を行っている。

診断書		平成28年度	平成29年度
審査件数	総件数	2,097	2,241
	うち新規	735	801
	うち更新	1,301	1,410
	うち等級変更	61	30
結果	承認	1,888	2,067
	不承認	83	54
	審査保留※	126	120

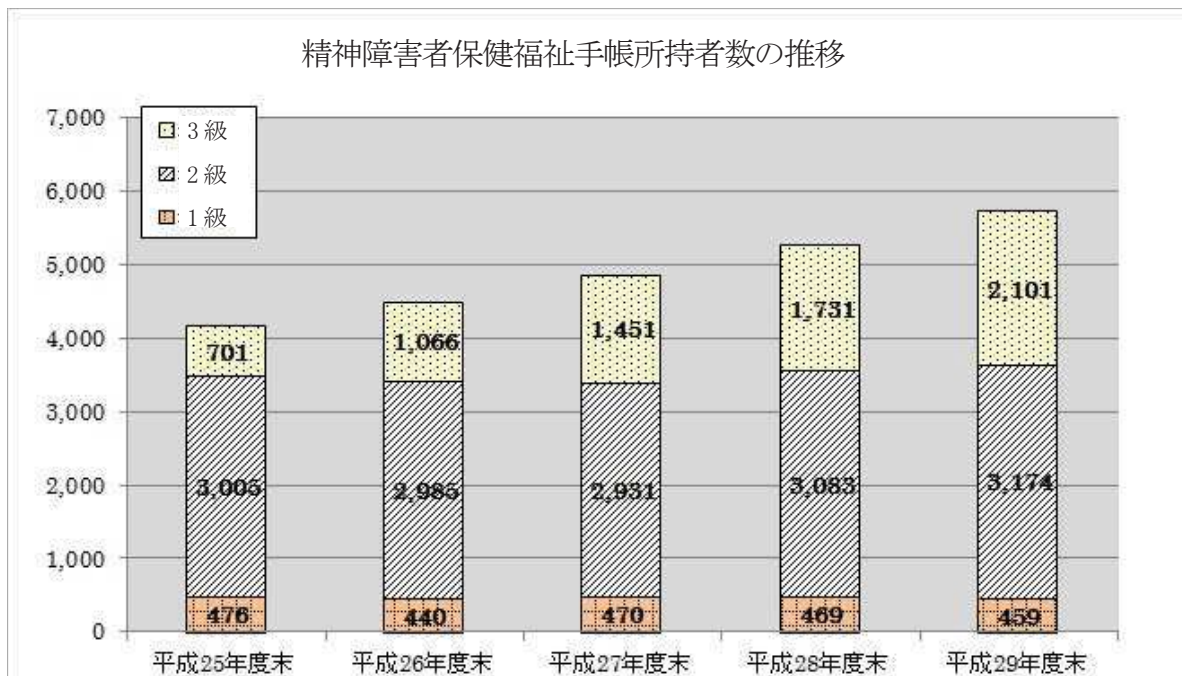
※審査保留は延べ件数

年金証書		平成 28 年度	平成 29 年度
審査件数	総件数	934	886
	うち新規	217	158
	うち更新	693	694
	うち等級変更	24	34
結果	承認	972	874
	不承認	7	12
	審査保留※	0	0

※審査保留は延べ件数

◆ 精神障害者保健福祉手帳所持者数

等級	平成 25 年度末	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 28 年度末	平成 29 年度末
1 級	476	440	470	469	459
2 級	3,005	2,985	2,931	3,083	3,174
3 級	701	1,066	1,451	1,731	2,101
合計	4,182	4,491	4,852	5,283	5,734



ウ 自立支援医療費（精神通院医療）

◆審査件数

		平成 28 年度	平成 29 年度
審査件数	診断書要件数	5,624	7,882
	うち新規	1,990	2,144
	うち更新	3,634	5,738
	診断書不要件数（医 2）	6,592	4,735
結果	承認	12,157	12,554
	不承認	21	8
	審査保留※	37	52

※審査保留は延べ件数

◆自立支援医療費（精神通院医療）受給者数

障 害 名	ICD コード	25 年度 末	26 年度 末	27 年度 末	28 年度 末	29 年度 末
症状性を含む器質性精神障害	F 0	329	339	337	396	430
精神作用物質使用による精神および行動の障害	F 1	290	304	317	339	338
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	F 2	3,401	3,413	3,471	3,586	3,616
気分（感情）障害	F 3	3,287	3,356	3,595	3,852	4,111
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	F 4	1,366	1,411	1,507	1,532	1,591
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F 5	65	63	73	73	73
成人のパーソナリティおよび行動の障害	F 6	56	49	49	52	59
精神遅滞（知的障害）	F 7	85	80	105	109	106
心理的発達の障害	F 8	1,206	1,359	1,472	1,308	1,405
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	F 9	214	267	333	321	369
てんかん	G 4 0	603	616	656	667	700
その他の精神障害	F 9 9	0	0	0	0	0
合 計		10,902	11,257	11,915	12,235	12,798

自立支援医療費(精神通院)受給者数の推移

